

平成 30 年度学長の業務執行状況の確認について

平成 31 年 2 月 13 日
学長選考会議

学長選考会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成 26 年 6 月 10 日学長選考会議決定)第 3 に基づき、下記のとおり平成 30 年度学長の業務執行状況の確認を行った。

記

1. 経過

(1) 平成 30 年度第 1 回学長選考会議(30.6.20)

平成 30 年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて、検討を行い、例年通り学長のヒアリング及び監事の意見聴取を中心に実施することとした。

(2) 平成 30 年度第 2 回学長選考会議(30.9.12)

平成 30 年度学長の業務執行状況の確認について、学長のヒアリングの資料となる報告書の検討を行った。

(3) 平成 30 年度第 3 回学長選考会議(31.1.24)

学長のヒアリング及び監事の意見聴取を実施した。

2. 確認内容

○ 大学のビジョンの周知等について

広島大学の現状や目指す方向性、改革の進め方等について、定期的な学長メッセージや部局訪問等により、教職員や学生と情報共有を図っていることを確認した。

○ 大学改革に向けた取組について

「広島大学の大学院再編についての考え方」に基づき、平成 31 年 4 月に大学院統合生命科学研究科及び大学院医系科学研究科が設置されることを確認した。

また、トランスレーショナルリサーチセンターや防災・減災研究センターを設置し、新たな人材育成等にも取り組んでいることを確認した。

さらに、インド科学産業研究委員会と全学交流協定に関する覚書を締結し、今後インドの研究機関との連携を進め、国際共同研究等を推進していくことを確認した。

○ ガバナンス体制の構築について

新たな運営体制の構築に向け、「新運営体制詳細設計」、「教育研究環境改善」、「業務組織」、「予算配分」、「人事制度」などの検討を進めていることを確認した。

また、人的資源の適切な管理を行うため、教員人事の管理を全学一元化で行い、特に若手教員の割合の増加に向けた取組を進めていることを確認した。

○ 対外的取組について

平成 30 年 7 月豪雨災害への対応として、学内の防災研究分野の専門家を集め、「広島大学平成 30 年 7 月豪雨調査団」を設置し、記録的豪雨による被災状況の調査・分析を行い、自治体の災害対応や地域の復興促進に向けた取組を進めていることを確認した。

○ その他

国外の政府代表者等による平和をテーマにした講演会「ピース・レクチャー・マラソン」を開催し、平和を希求する広島大学としての取組を行っていることを確認した。

3. 確認結果

学長選考会議は、平成 30 年度学長の業務執行状況について、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。